



1月後半の児童朝会での話を簡潔にまとめて紹介します。

1月22日 「地震への備え」

今日のお話は地震についてです。

先週1月17日は、皆さんが生まれる前、29年前、平成7年に阪神・淡路大震災が起こった日です。大きな地震が起こり、兵庫県を中心にたくさんの被害がでました。朝、自分の家が大きく揺れて、とつてもびっくりしたのを今でも、覚えています。

さらに、12年前、ちょうど6年生が生まれた年でしょうか？平成23年3月11日には、東日本大震災が起こりました。

最近では、皆さんも知っているとおおり、お正月、1月1日に能登半島地震が起こりました。

日本は、大きな地震が繰り返し起こる国であり、徳島県にも大きく関係する「南海トラフ地震」は、「今後30年以内に地震が起こる確率は、70～80%」と予想されています。本当に、いつ、どこを中心に、地震が起こるか分かりません。

日頃から、もしも！の時にそなえておくことが大切です。今、私たちにできることとして、津波避難場所を知ること。例えば、沖洲小学校も地域の避難場所になっています。沖洲地区には、他にも避難場所・避難ビルがあるので、家の近くの避難場所・避難ビルを確認しておくことは大切です。4年生の廊下に「沖洲地区 地震・津波支援マップ」(写真)を貼っています。とても参考になるとと思います。

また、地震が起こったときにどう行動するか、家族で相談しておくことも大切です。

防災グッズなどを用意し、いざというときにすぐ持ち出せるようにしておくことも必要な備えです。

そして、学校でも避難訓練をしていますね。そんな時に、真剣に参加し、どう行動したらよいかを考え、身に付けておくことが大切です。4年生の社会科の学習で防災について学習します。しっかり勉強し、防災について知ること大切で。

まずは、自分の命は自分で守る、行動力や正しい知識を身に付けておくことが、もしも！の時の大きな備えになってきます。実際に地震が起こったときに、声をかけ、お互いに助け合う、そうできる関係を今からつくっていくことも大事なことだと思います。

もしもの時に備えて、まずできることから、取り組んでいきましょう。

1月29日 「節分」

今週の木曜日には、1月も終わり、2月に入ります。

始業式に、3学期は過ぎるのは早い 1月は行く 2月は逃げる 3月は去ると言われているという話をしましたが、1月がもうすぐ行ってしまいます。

そして、2月に入ると、2月3日は節分です。

○3択クイズ(節分は1年に何回ある?)

正解は、4回です。2024年は、立春 2月4日の前の日 立夏 5月5日の前の日 立秋 8月7日の前の日 立冬 11月7日の前の日 が節分です。

ちょうど季節の節目、その「さかい」が節分と言われ、2月3日の節分は、立春の前の日、冬と春の境目になります。4回あるうちの立春は、1年の始まりであり、冬を乗り越えて、春を迎えることから、特にめでたい日とされ、節分として今も、豆まきなどの行事が行われています。

豆まきは、徳島では「鬼は外、福は内」と言いながら豆をまきます。厄をはらう、悪いことを追い出し、幸せを招き、健康で1年間過ごせるように願って、豆をまきます。

それだけでなく、こんな話を、聞いたことがあります。鬼とは、自分の中にある悪い心、怠ける心や意地悪な心であり、その悪い心を自分の中から追い出し、福、良い心を自分の中に招き入れるのも豆まきだと聞いたことがあります。

この節分や豆まきを通して、自分の心の中にある鬼を追い出し、自分の心の中が福、良い心でいっぱいになるよう、また、自分でも願い、努力してみてください。